

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第七卷 第一號

大正七年七月一日發行

論說

剩餘價格ノ成立……………法學博士 河上肇

相續稅批評ノ重點(一)……………法學博士 神戶正雄

扶養義務力救済籍力……………法學博士 財部靜治

さんちかりずむ概論(一)……………法學士 河田嗣郎

黃宗羲ノ政治經濟思想(一)……………法學士 小島祐馬

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(六)……………法學博士 田島錦治

分業ヲ論ジテ福田博士ノ教ヲ請フ(二完)……………文學士 高田保馬

時事問題

小口落禁止問題……………法學博士 戸田海市

軍需工業動員法ニ就テ……………法學士 櫛田民藏

雜錄

英吉利ノ豫算……………法學士 河田嗣郎

南露ニ於ケル獨逸住民(二完)……………文學士 長壽吉

かあらいるノ「過去及ビ現在」……………文學士 石田憲次

戰費調達問題(一)……………法學士 小島昌太郎

さんぢかりずむ概論(一)

河田 嗣 郎

(一) さんぢかりずむノ本質

社會組織ノ根本義ニ關スル一種ノ哲學的見解トシテ、又實際的社會運動ニ於ケル一傾向トシテノさんぢかりずむハ、其名ニ於テモ其ノ思想ニ於テモ佛蘭西傳來ノモノデアアル。固ヨリ其ノ思想ハ佛蘭西ニ特有ナルモノデハナイガ、主トシテハ之レ實ニ佛蘭西、伊太利、西班牙ト云フガ如キ拉典民族ノ國々ニ榮エ、就中特ニ佛蘭西ニ於テ著明ナル發達ヲ遂ゲタルモノデアアル。

佛蘭西ノさんぢかりずむ Syndicalisme ナル言葉ハ普通ノ用例ニ於テハ、英語ノ職工組合主義 Trade Unionism 又ハ労働組合主義 Labour Unionism ヲ意味スルモノタルニ外ナラヌ。元來 syndicate ト云ヘバ英語ニテハ或ル企業上ノ目的ノ爲メニスル資本家ノ集合團結ヲ意味シ、我國ナドニ在リテモ其ノ用例ニ從ツテ近者屢々しんぢけいトノ名ヲ聞ク所デアアル。然ルニ佛蘭西語ニテ Syndicat ト云ヘバ其ノ本來ノ意義ハ如何ナル種類ノ人々ノ集合團結タルヲ問ハズ其ノ集團ニ屬スル人々ノ利益ヲ擁護シ増進スルガ爲メニ存スル集合團體ヲ意味スルモノデアアルノニ、現今普通ノ

用例トシテハ、シハ唯ダ syndicat ouvrier トシテ労働者ノ集合團結ヲ意味スルモノトナツタノデアル。サレバさんぢかりすむナル佛蘭西語ハ其ノ本來ノ語義ヨリ之ヲ言ヘバ諸種ノ集合團體ノ主義政策ヲ指稱スルモノナルニ拘ラズ、現今普通ノ用例ニ於テハ唯單ニ労働組合主義ヲ意味スルニ過ギザルモノト爲ツタ次第デアル。

然シ乍ラ佛蘭西ニ於ケル労働組合主義トシテノさんぢかりすむハ同時ニ其ノ實際上ノ意義ニ於テ他ノ國々ノ労働組合主義ト同様ナルモノデハナイ。其ハ實ニ佛蘭西ニ特有ナル一種ノ労働組合主義トシテ獨特ノ地位ヲ占ムルモノデアツテ、廣キ意味ニ於ケル労働組合主義ノ一派ヲ爲シ一模型ヲ爲スモノタルニ過ギヌ。少クトモ英國ノ職工組合主義 Trade Unionism トハ啻ニ其ノ意義ノ同様ナラザルノミナラズ、寧ロ甚ダ其ノ立場ヲ異ニスルモノデアル。實際ニ於テハ兩者ハ互ニ敵對ノ地位ニ立ツ場合ガ少クナイノデアル。¹⁾

佛蘭西ニ在リテモ労働者ノ組合團結ハ種々ニ分レテ居リ、異種多様ナル多クノ組合ガ存在スルノデアル。就中或者ハ頗ル保守的デ其ノ政策ハ温和デアツテ資本主ト労働者トノ地位ノ對等ヲ認め、兩階級間ノ利益ノ衝突ニ關シテ労働者階級ノ利益増進ヲ計ラムトスルモノデアル。然ルニ之ニ反シテ或者ハ頗ル急進的デらぢかるデ資本主ヲ敵視シテ獨リ労働者ノ利益ヲ高唱シ、労働者ガ支配ノ全權ヲ握レル經濟組織ヲ造リ出サントスルノデアル。前者ハ通俗的ニ『黃色組合』又ハ『改

1) J. Spargo, Syndicalism, Industrial Unionism and Socialism, p. 3

良的組合』トシテ知ラレ、後者ハ『赤色組合』又ハ『革命的組合』トシテ了解セラルルノデアアル。²⁾而シテ人ニ依リテハ此ノ兩者ヲ共ニ普通ニ云フさんぢかりずむ中ニ入レさんぢかりずむノ兩分派ト爲スケレドモ、³⁾廣ク諸國ニ涉リテさんぢかりずむト云フ場合ニハ、常ニ唯此ノ兩者中ノ革命的ナル急進赤色組合ヲ指スモノト見ルガ穩當デアアル。

然ラバ此ノ意味ニ於ケルさんぢかりずむトハ聊モ如何ナルモノナリヤト尋スルニ、其ハ固ヨリ其ノ傳播セル諸國ニ於テ多少ヅツ理論ト主義ト手段トヲ異ニシ、又さんぢかりずむハ今尙ホ發育中ニ在レバ、確定的ニ之ガ定義ヲ下スコトハ困難デアルケレドモ、然カモ諸國ニ共通ナル性質ニ依ツテ之ヲ見レバ、要スルニ之レ労働者ノ利益ヲ掠奪スルコトヲ基礎トシテ成レル資本主義的制度ヲ廢除シ、全然階級の支配ト階級の掠奪トヨリ自由ナル一ノ新タナル社會組織ヲ造リテ之ニ代ラシムルヲ目的トスル労働組合主義ノ一種デアアル。而シテソハ斯ク階級の支配關係ヲ排除セントスルモノデハアルケドモ、其ノ基礎觀念ヲ爲スモノハ依然トシテ社會主義流ニ階級戰爭ノ觀念デアルカラ、労働者ノ結合團結ニ依リテ階級の自覺ヲ明確ニスルヲ以テ其ノ要務ト爲シ、ツマリハ労働者ノ階級トシテノ利益ヲ擁護シ増進セムガ爲メニ社會組織ノ根本的革新ヲ企テ、將來ニ於テハ労働者ノ支配スル經濟組織ヲ造ラント希望スルノデアアル。然リ而シテ實行的運動トシテノさんぢかりずむノ立場ハ右ノ目的ヲ達スルニ就キテハ議會ノ助ニ由ラス法律ノ力ヲ藉ラズ全ク國家ノ仲

2) J. Spargo, *ibid.* pp. 3-4; A. D. Levis, *Syndicalism and the General Strike*, p. 16

3) Félicien Challaye 氏ノ如キハ其例デアアル。

介ヲ待タズシテ所謂直接行動ニ依リテ之ヲ達セントスルモノデアル。サレバ其ノ理想トスル所ノモノノ明瞭ナル色彩ハ將來ノ新社會組織ノ下ニ於テハ政治的國家ハ最早存在セズ、其ノ唯一ノ政治形式ハ労働者自身ニ依リテ直接ニ産業管理ノ行ハルルコト之デアル。⁴⁾

さんぢがりすむノ抱懷スル將來ニ對スル理想、其ノ理想ニ達スルガ爲メノ手段及ビ其ノ手段ヲ行フニ就キテノ主義立場等ニ關シテハ、後ニ詳論スルコトトシテ、先ヅ茲ニハ其ノ社會的見解及ビ運動トシテノ一般の性質ニ就キテ見ルニ、右述ノ如クさんぢがりすむハ固ヨリ一種ノ労働組合主義及ビ労働組合運動タルニ外ナラス。ケレドモ其ハ前ニモ一言セシガ如ク、英國流ノ職工組合主義及ビ職工組合運動トハ頗ル面目ヲ異ニスルモノデアル。試ニ兩者ノ相異レル主要ナル點ヲ擧グレバ、職工組合ツレドモユニオンハ同一職業ノ下ニ在ル労働者ノ結合團體タルニ反シテ、さんぢがりすむノ團體ハ職業ノ如何ヲ問ハズ何人モ労働者タル限リハ唯ダ労働者タルノ故ヲ以テ之ニ加入スルコトガ出來ルモノトセラルルノデアル。即チ労働者ハ年齢、性、熟練ノ程度、人種、國籍等ノ如何ヲ問ハズさんぢがりすむシテ團結ス可キモノゾ、然カモ其ノ團結ハ職業的ノ區別ニ沿ウテ行ハレズ、實ニ唯ダ産業的ナル大同團結デナクテハナラス。而シテ此ノ大團結ハ實際ニハ多數ニ分割セラルル可キモノトセラルルガ、其ノ分割ハヤハリ又職業上ノ區別ニ從ツテ行ハル可キモノデハナイノデアル。之レ實ニさんぢがりすむガ米國ナドニ在リテハ産業的労働組合主義 Industrial Unionism トシ

4) L. Brentano, Syndikalismus und Lohnminimum; Zwei Vorträge, München 1913, S. 14; J. Spargo, ibid. pp. 13-14.
5) André Tridon, The New Unionism, p. 17; L. Brentano, a. a. O. S. 14

テ知ラルル所以デアル。

斯クノ如クさんぢかりすハ職工組合ト異リ唯單ニ労働者タルモノノ團結デアルカラ、職工組合ガ同一職業ニ屬スル労働者ノ團結ニシテ、然カモ其ノ組合ニ屬スル者ノミノ利益ヲ維持増進スルヲ以テ目的ト爲シ任務ト爲シ、組合所屬以外ノ労働者ノ利害ヲ顧ル所ナク寧ロ之ヲ犠牲ニ供スルモ意トセザルノ態度ヲ持スルニ反シテ、さんぢかりすハ労働者全般ノ階級トシテノ利益ヲ擁護シ其ノ全般ノ解放ヲ行ヒ労働者ノ天下ヲ造リ出スヲ以テ目的トシ任務トスルノデアル。換言スレバさんぢかりすハつれど、ゆにおにすむト異リ職業的結合ノ代リニ階級的結合ニ向ツテ進ムモノト謂フコトガ出來ルノデアル。

サレバさんぢかりすハ奉ズル人々ハ謂ラク、職工組合ハ唯之レ労働者中ノ少數ナル者即チ謂ハバ労働者中ノ貴族階級ガ、少數ナル自分共ノ利益ノ爲メニ労働市場ヲ獨占シ、他ノ多數労働者ヲ排斥シ、之ヲ排斥セムガ爲メニハ入會金ヲ高クシ又會費ヲ高クシテ自ラ衛ルモノデアル。從テ職工組合ハ有産者階級^{アルシヨア}ノ造レルト相似タル政府ヲ造リ、有産者階級ノ官僚政治ト相似タル官僚政治ヲ行フモノデアツテ、中央ノ命令ハ組合労働者ニ對シテ労働去就ノ決定ヲ爲サシメ、中央集權的ナル統一政治ノ行ハレ、労働者各人ハ爲メニ頗ル獨立心ヲ失ヒ獨創力ヲ失フニ至ルヲ免レザル

モノデアルト。⁶⁾ (Trautman, Haywood, Lagardelle)

6) A. Tridon, *ibid.* pp. 4-5.

右ノ如クニシテ即チさんぢかりすむハ職工組合主義トハ少カラズ其ノ面目ヲ異ニスルモノデア
ルガ、然ラバソハ社會主義ヤ無政府主義トハ如何ナル異同ヲ有スルモノデアるか。さんぢかりす
むハ頗ル無政府主義ノ流ヲ酌ムモノト謂フコトガ出來ル。ケレドモ兩者ハ決シテ同一ノモノデア
ナイ。Edouard Berth 氏ハ致フルニ、さんぢかりすむノ人々ハ現存ノ資本主義ガ一般文明ノ進歩
ト物質的福利ノ増進トノ爲メニ盡セル大イナル功績ヲ認ムルニ吝ナラザルノミナラズ、資本主義
ガ勞働者ヲシテ個人主義ヨリ集合勞働ニ入ルヲ得セシムルノ訓練ヲ與ヘタルコトヲ承認スルモノ
デアル。然ルニ無政府主義者ニ至ツテハ文明其物ヲ呪ヒ、ソガ徒ラニ努力多クシテ齎ス幸福ノ少
キヲ咀フモノデアアル。即チ無政府主義ハ徹頭徹尾否定的デ然カモ其ノ否定タルヤ多クハ之レ有産
者の見解ニ出デタルモノニシテ、ツマリ無政府主義ハ頗ル墮落セル有産者階級ノ絶望的否定タル
ノ實質ヲ有スルモノタルニ外ナラヌト。

從テさんぢかりすむヲ信ズル人々ハ謂ラク(例ヘバ Fr. Van Edeu 氏ノ如キ)無政府主義ハ組
織ト云フモノノ絶大ナル價值ヲ忘レ、勞働者ハ何等ノ指導ナク訓練ナクシテ社會革新ヲ行ヒ以テ
好ク組織サレタル新社會ヲ組織シ得可シト考フルモノデアアルガ、之ハ實ニ最惡ノ意味ニ於ケルゆ
ゝとびあタルニ過ギヌ。ツマリ無政府主義ハ勞働者ニ對シテ其ノ敵手タル掠奪者ノ恐ル可キ大勢
力ヲ教ユルコトヲ爲サザルノミナラズ、其ハ又現時ノ複雜極レル社會構成ニ於テハ舊組織ヲ亡ボ

シテ新組織ヲ建テンガ爲メニハ、大イナル組織的能力ト科學的智識ト經濟的洞察ト第一流ノ指導力ト峻嚴ナル訓練トヲ必要トスルモノナルヲ認識セザルモノデアル。サレバ無政府主義ハ破壊ハ之ヲ行フケレドモ建設ハ之ヲ行フヲ得ズ、擊テドモ勝テ得ザルモノナリト。

尙又 Ed. Trautman 氏ノ如キニ至ツテモ近世文明ヲ擁護スル點ニ於テハ頗ル熱心ナル者タルヲ失ハヌ。彼ハ謂ラク、決シテ破壊セズ、何等ノ消耗ヲ爲サズ、毛頭モ野蠻ニ復歸シテハナラヌ。

文明ノ更ニ高キ程度ガ得ラレナケレバナラヌ。若シ勞働者ニシテ現時ノ社會及ビ經濟組織ガ如何ニシテ出來上リ發達シ來レルカラ知ルニ於テハ、過去幾年代ニ於ケル社會的並ビニ經濟的努力ノ成果タル現文明ヲ破壊セムトハ思ハヌデアラウト。⁷⁾

斯クさんぢかりすむハ無政府主義ト見解ヲ一ニセザルモノデアルガ、然シ兩者間ニハ甚ダ多クノ共通點ガ存シテ居ル。謂ハバさんぢかりすむハ無政府主義ト社會主義トノ理論ノ混合ニ依リテ成立テルモノデアル。例ヘバ彼ノ階級戰爭ノ觀念ノ如キハ無政府主義者ハ之ヲ否認スルモノナレドモさんぢかりすむハ之ヲ以テ其ノ根本原理トシテ居ル。又政治的行動ト無産者ニ依ル國家ノ征服トノ如キ考ハ社會主義者ノ絶對的ニ必要ナリトスル所ナレドモ、さんぢかりすむハ之ヲ否認スルノデアル。又無政府主義者ガ久シク之ヲ唱道シ來レル所謂「直接行動」ニ至ツテハ之レ亦實ニさんぢかりすむノ政略ノ基石デアル。又産業ヲ國營若クハ自治體營トスルコトハ社會主義ノ中心要

7) A. Tridon, *ibid.* pp. (2-4)

求點ナレドモさんぢかりずむハ全ク之ヲ排斥スルノデアアル。要スルニ此ノ意味ヨリスレバさんぢかりずむノ合成分子中ニハまるくす流ノ社會主義ノ理論ヨリモ無政府主義ノ理論ノ方が多イノデアアル。然ルニ又更ニ之ヲ觀察スレバさんぢかりずむハ既述ノ如ク職工組合主義トハ甚ダ相容レザルモノタルニ拘ラス、其ノ理論中ニハ職工組合主義ノ理論モ少カラズ含マレテ居ルノデアツテ、彼ノ同盟罷工ノ如キハ元來職工組合ノ武器タルヲさんぢかりずむハ取リテ以テ自己ノ武器ト爲シ直接行動ト云ヘバ主トシテ之ヲ意味シ、然カモ直接行動ナクシテハさんぢかりずむハ魂ナキ人形ノ如キモノタルニ過ギヌノデアアル。

サレバ極メテ粗雜ニ之ヲ謂ヘバ、さんぢかりずむハ哲學的ニハ階級戰爭ニ關スル社會主義者ノ教義ニ據リ、次ニ其ノ目的トシ理想トスル所ハ無政府主義者ノぶろばがんだヨリ之ヲ取リ、次ニ其ノ武器トシテハ職工組合主義ノ武器トスル所ヲ探ルモノト見ルコトガ出來ルノデアアル。⁸⁾

さんぢかりずむガ如何ナル性質ノモノナルカハ凡ソ以上ニ述ブル所ニ依リテ略ボ之ヲ了解スルコトガ出來ルト思フ。仍テ試ニ其ノ骨子ヲ概括シテ見ヤウナラバ、さんぢかりずむノ主張シ立場トスル所ハ

- (一) 現存ノ資本主義ハ撲滅セラレザル可ラズ、ソレト同時ニ又政治的國家組織モ覆没サレザル可ラズ。

8) J. Spargo, Syndicalism, Industrial Unionism and Socialism pp. 14-15.

(二) 此ノ大事業ハ唯ダ勞働者自身ニ依リテノミ成就サル可キデアル。

(三) 然シ其ハ政治的行動ニ依リテ得ラル可キデハナイ。唯ダ勞働者ノ直接行動ノ結果トシテ、

換言スレバ經濟的ナル鬭爭軋轢ノ直接ノ結果トシテノミ爲シ遂ゲ得ラル可キデアツテ、立法手段ニ依リテ間接的ニ得ラル可キモノデハナイ。

(四) 社會ハ勞働者ニ依リテ改造セラレナケレバナラス。而シテ經濟的ナル階級掠奪ト階級支配トハ廢除サレナケレバナラス。

(五) 新社會ニ在リテハ勞働者ノ組合團體ハ總テノ産業ヲ所有シ又管理シ、消費ヲ整理シ又一般社會ノ利益ヲ處置ス可キデアル。其他ニハ何等ノ形式ノ政治モ行ハル可キモノデナイ。

ト云フニ存スル次第デアル。此ノ主張ノ理論的根據、其ノ理想及ビ之ヲ達スルニ就ケテノ任務手段等ニ關シテハ、尙ホ後ニ今少シク詳細ニ論述スルデアラウ。

さんぢかりすむハ上述ノ如キモノナルガ故ニ、其ノ好ク廣ク行ハルヲ得可キ所ハ、小工業ノ多キ所、大工業ヤ國營業ニ雇ハレタル小役員ノ多キ所タル可キコト洵ニ賭易キ次第デアル。サレバ現今其ノ最モ廣ク行ハルハ既述ノ如ク佛、伊ノ兩國デアツテ、兩國中ニ在リテモ特ニ郵便電信電話ノ小役員及ビ鐵道従業員中ニ最モ廣ク行ハレ、其ノ思想ハ公立學校ノ教員中ニモ傳播シテ居ル。惟フニ勞働者ノ小サキ團體ガ聯合ヲ形造リテ以テ種々ノ産業ヲ管理セムトスルノ考ハ、現

今ニ於テモ尙ホ佛、伊ノ如キ國々ノ産業ガ中世式ニ行ハルル所多ク、例ヘバ巴里ノ如キニ於テス
ラ甚ダ多ク其ノ實情ヲ示シツツアルヨリ來ルモノデナクテハナラス。佛蘭西ニ在リテハ一八八四
年ニ勞働者ノ職業ニ由ル結社ガ許サレテ以來ハ多クノ勞働組合ノ發生ヲ見ルニ至ツタガ、之ニ屬
スル勞働者ハ大抵ハ無資力ニシテ同時ニ革命氣分ニ滿チテ居ルノデアル。而シテ其ノ最モ弱點ト
スル所ハ資力ノ薄弱ナル點デアツテ、英國ノ職工組合ノ如キト大ニ面目ヲ異ニスルモノ此ノ事情
ニ職由スル。然ルニ佛蘭西ノ組合勞働者ハ組合ガ資力ヲ強クシ組合員ニ重キ負擔ヲ課スルヲ極力
非難シ、斯クテハ資本金主ニ挑戰セムトシテ纏テ又其弊ニ倣ヒ、及ビモ付カヌ金力ノ競争ヲ企ツル
ノ愚ニ陥ルモノトスル次第デアル。

伊太利ニ在リテモ亦勞働者ノ組合數ハ頗ル多數ナレドモ何レモ甚ダ貧弱デ不安定デ又甚ダ地方
的デアル。而シテ農業ノ如キスラ此等ノ團體ニ依リテ共同的ニ行ハルルモノガ少クナイ有様デア
ルガ、農業勞働者團體ノ間ニハ甚ダ脆弱ナル聯合ノ成立ヲ居ルニ過キズ、工業勞働者團體ノ間ニ
ハ稍堅固ナル團體ガ成立ツテ居ル。サレバ伊太利ニ於ケル勞働團體ハさんぢかりすとトシテ立ツ
ニハ恰モ適當ナル事實上ノ基礎ヲ有スルモノデアツテ、此國ニ於テさんぢかりすむノ傳播セルハ
洵ニ其ノ理由アル次第デアル。

而シテ英國ノ如キニ在リテハ近世工業ノ最モ早く發達セルダケ、勞働組合主義ノ發芽モ最モ早

ク之ヲ見、十七世紀ノ後半以來漸次ニ工業ノ發達スルニ連レテ勞働者ノ境涯劣惡トナリ來ルト共ニ、議會ノ力ニ依リ立法ノ道ニ依リテ之ヲ改善セムトスルノ努力ガ行ハレタケレドモ、其ノ到底能ク望ヲ達ス可ラザルコトノ明瞭トナルヤ、勞働者ハ漸クニ絶望的氣勢ヲ迎フルニ至リ、暴行ヲ交ヘタル直接行動ニ依リテ社會ノ革新ヲ希望スルニ至ツタ。斯クテ一八三〇―一八四〇年代ニハ總同盟罷工イタスラ考ヘラルルルニ至ツタガ、其後又更ニ此ノ手段ノ到底能ク目的ヲ達ス可ラザルモノナルコトノ明カトナルト共ニ、計畫ヲ立テ組織ヲ造リ經濟上ノ實力ヲ養ヒテ經濟的ナル鬭爭ニ依リテ勞働状態ノ改善ヲ計ルノ外ニ道ナキコトノ一般ニ了解セラレ、勞働組合ハ職工組合ツレド、ユニカシトシテ大發達ヲ遂グルコトトナツタノデアアル。而シテ職工組合ガ大ニ發達スルト共ニ其ノ實力ハ大トナリ、近者漸クニ貴族的ニ又保守的ニ傾キ來リ、唯ダ平和手段ニ依リテ正當ナル權利主張ヲノミ爲サントスルニ至ツタノデアアル。從テ之ニ屬スル勞働者ハ出資能力ノ十分ナル熟練勞働者ノミデアツテ不熟練者ハ組合ニ加入スルヲ得ズ、此等ノ者ノ状態ハ甚ダ以テ劣惡トナラザルヲ得ザルコトトナツタ。茲ニ於テカ此等ノ劣敗者ノ爲メニスル運動ノ漸クニシテ行ハレントスルニ至リ John Burns や Tom Mann 兩氏ノ如キハ大イニ之ガ爲メニ盡力シ、特ニとんむ、まん氏ハ明カニさんぢかりずむノ旗幟ヲ樹テ奮闘努等目醒シキモノガアツタケレドモ、其ノ實勢力ハ多ク揚ラズ、英國ニ於ケルさんぢかりずむハ現今尙ホ甚ダ振ハザル有様デアアル。ケレドモ最近ニ至リ英國ノ勞働者間ニモ少カラズ革

命的急進主義ガ浸漸シ來ラントスルノ勢ヲ造リツツアルコトハ見通シテハナラヌ所デアル。⁹⁾

其他ノ諸國ニ於テハ獨逸ニ在リテモさんぢかりすむノ勢力ハ微々タルモノニ過キズ、彼ノ Lokalisten ノ團體ハ其數ニ於テモ勢力ニ於テモ、至ツテ微弱ナルモノデアル。然シ其ノ人々ノ見解ハ純佛蘭西式ノモノデアル。次ニ北米合衆國ノさんぢかりすむハ I. W. W. (Independent Workers of the World) ニ依リテ代表サレテ居ル。之ハ歐洲ノさんぢかりすむトハ現存ノ労働組合ニ對スル政略ト組合組織ノ理論トニ於テ多少趣ヲ異ニシテ居ルガ、然シ亞米利加ノさんぢかりすむモ亦佛蘭西ヤ伊太利ノソレノ如ク政治的國家ヲ否認シ、之ヲ廢シテ産業的ナル労働組合ノ組織ニ依リテ社會ノ新組織ヲ造ル可シト主張スルノデアル。而シテ又政治的行動ヲ嗤笑シ、議會主義パリアメンタリズムヲ排斥シ直接行動ヲ獎勵スルノデアル。I. W. W. 所屬ノ労働者ハ自ラ社會主義者ニアラズ無政府主義者ニアラズト稱シ、唯之レ革命的ナル労働者ナリト主張スルヲ忘レテハナラス。

最後ニ瑞典ヤ丁抹ノ如キ國々ニ在リテモさんぢかりすむハ多少行ハレテ居ルガ、ソハ唯ダ小サキ然シ乍ラ隘シキ團體ニ限ラレテ居ル。而シテ其ノ思想ハ主トシテ佛蘭西ノさんぢかりすむヤ I. W. W. ヨリ之ヲ受ケテ居ルノデアル。右等以外ノ國々ニ於ケル有様ハ一々上げテ言フ程ノコトモナイ。¹⁰⁾ (續ク)

9) L. Brentano, a. a. O. SS. 8-13, 20-23

10) J. Spargo, ibid. pp. 24-40